



# 令和2年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年6月11日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川邊 史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 令和2年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年7月期第3四半期の業績(令和元年8月1日～令和2年4月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年7月期第3四半期	4,233	10.9	635	111.7	634	107.3	450	111.7
元年7月期第3四半期	3,816	11.6	300	37.3	306	44.6	212	45.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年7月期第3四半期	56.04	
元年7月期第3四半期	26.47	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年7月期第3四半期	11,476	8,620	75.1	1,073.12
元年7月期	10,784	8,280	76.8	1,030.82

(参考)自己資本 2年7月期第3四半期 8,620百万円 元年7月期 8,280百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年7月期		0.00		20.00	20.00
2年7月期		0.00			
2年7月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 令和2年7月期の業績予想(令和元年8月1日～令和2年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	19.5	860	162.4	850	178.6	600	178.3	74.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年7月期3Q	8,042,881 株	元年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	2年7月期3Q	9,780 株	元年7月期	9,564 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年7月期3Q	8,033,234 株	元年7月期3Q	8,033,332 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第3四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞から、景気は急速に悪化しております。また、世界経済につきましても新型コロナウイルス感染症の拡大によって世界各国で経済活動が停滞し、更にその終息時期の見通しは立たず、先行き不透明感が強まる状況で推移しております。

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいてスマートフォンや車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems = 微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、その中から本格生産への移行が着実に進んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響により、スマートフォンや自動車の販売台数が低下しており、今後の市場動向や顧客の設備投資動向を注視していく必要はありますが、5G (第5世代移動通信システム) の本格導入に向けた応用分野の広がりにより、装置需要は引き続き拡大していくと見込まれております。

このような状況の下、当社ではオプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや、電子部品分野の高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサー等向け製造装置の受注活動への注力による既存事業の推進に加え、新規事業 (ヘルスケア事業) の創出に向けた技術開発への取り組みや、新製品のアクアプラズマの拡販による新たな事業領域の拡大に注力してまいりました。新型コロナウイルス感染症が拡大した2月以降は、新規の受注案件が先延ばしになる傾向が強まり、加えて、緊急事態宣言発出以降の出社制限や出張、海外渡航の禁止等の影響もあり、当第3四半期の受注実績は期初の想定を下回る結果となりました。また、当社の生産体制、及び国内やアジア地域を中心とした出荷業務に対する影響は軽微に留まりましたが、海外への出荷装置の据付 (設置) 業務や立ち上げ作業の遅れが課題として残りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は3,864百万円 (前年同期比0.5%増)、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が4,233百万円 (前年同期比10.9%増)、営業利益は635百万円 (前年同期比111.7%増)、経常利益は634百万円 (前年同期比107.3%増)、四半期純利益は450百万円 (前年同期比111.7%増) となりました。

## (用途別売上高)

用途	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	838,008	19.8	△38.1
電子部品分野	1,870,106	44.2	69.1
シリコン分野	329,943	7.8	45.0
実装・表面処理分野	173,035	4.1	△4.1
表示デバイス分野	124,050	2.9	—
その他分野	215,367	5.1	△6.9
部品・メンテナンス	682,535	16.1	△4.9
合計	4,233,047	100.0	10.9

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,858百万円で前事業年度末に比べ573百万円増加いたしました。売上債権の回収等により現金及び預金が437百万円増加したのが主な要因であります。

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,618百万円で前事業年度末に比べ118百万円増加いたしました。保険積立金が109百万円、保有する投資有価証券の時価が上昇したことにより投資有価証券が76百万円増加したのが主な要因であります。

## (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,036百万円で前事業年度末に比べ357百万円増加いたしました。前受金が193百万円、未払法人税等が144百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、820百万円で前事業年度末に比べ4百万円減少いたしました。役員退職慰労引当金が7百万円増加した一方、リース債務が6百万円、退職給付引当金が4百万円減少したのが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,620百万円で前事業年度末に比べ339百万円増加いたしました。利益剰余金が289百万円増加したのが主な要因であります。自己資本比率は75.1%と前事業年度末に比べ1.7ポイント低下いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗及び市場環境等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、令和元年9月10日付の当社「令和元年7月期 決算短信[日本基準] (非連結)」で公表しました令和2年7月期の通期の業績予想及び配当予想を修正しております。

詳細は本日(令和2年6月11日)に別途開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和元年7月31日)	当第3四半期会計期間 (令和2年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,807,657	5,245,481
受取手形	36,720	34,048
電子記録債権	98,900	115,400
売掛金	1,195,426	1,284,328
仕掛品	912,352	955,245
原材料及び貯蔵品	182,880	186,742
前払費用	10,624	17,697
その他	40,195	19,786
貸倒引当金	△138	△147
流動資産合計	7,284,619	7,858,583

(単位:千円)

	前事業年度 (令和元年7月31日)	当第3四半期会計期間 (令和2年4月30日)
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	1,035,933	1,048,093
減価償却累計額	△703,545	△726,453
建物(純額)	332,387	321,639
構築物	25,314	26,536
減価償却累計額	△24,416	△24,525
構築物(純額)	898	2,011
機械及び装置	766,820	808,028
減価償却累計額	△690,718	△710,220
機械及び装置(純額)	76,102	97,807
車両運搬具	53,559	53,407
減価償却累計額	△41,337	△44,013
車両運搬具(純額)	12,221	9,394
工具、器具及び備品	219,736	221,976
減価償却累計額	△196,806	△203,576
工具、器具及び備品(純額)	22,929	18,399
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	50,790	50,790
減価償却累計額	△34,704	△39,988
リース資産(純額)	16,085	10,801
建設仮勘定	43,623	6,041
有形固定資産合計	3,035,084	2,996,932
<b>無形固定資産</b>		
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	26	—
水道施設利用権	987	776
リース資産	12,022	9,474
無形固定資産合計	15,999	13,213
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	147,971	224,050
関係会社株式	25,207	25,207
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	32,919	29,562
繰延税金資産	130,268	108,105
差入保証金	77,472	75,907
保険積立金	29,161	138,784
その他	354	1,537
投資その他の資産合計	448,355	608,154
<b>固定資産合計</b>	<b>3,499,439</b>	<b>3,618,300</b>
<b>資産合計</b>	<b>10,784,058</b>	<b>11,476,883</b>

(単位:千円)

	前事業年度 (令和元年7月31日)	当第3四半期会計期間 (令和2年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	493,182	475,655
短期借入金	700,000	700,000
リース債務	10,443	9,433
未払金	107,824	58,442
未払費用	32,497	37,583
未払法人税等	17,901	162,375
前受金	222,559	415,794
預り金	29,307	18,853
賞与引当金	24,600	57,363
役員賞与引当金	3,106	12,048
製品保証引当金	25,700	24,600
その他	11,148	64,081
流動負債合計	1,678,271	2,036,229
固定負債		
リース債務	17,664	10,842
長期末払金	1,352	867
退職給付引当金	428,374	423,570
役員退職慰労引当金	377,456	384,818
固定負債合計	824,848	820,098
負債合計	2,503,119	2,856,328
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,867,000	3,867,000
繰越利益剰余金	561,476	851,021
利益剰余金合計	4,487,976	4,777,521
自己株式	△10,803	△11,164
株主資本合計	8,220,347	8,509,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,591	111,024
評価・換算差額等合計	60,591	111,024
純資産合計	8,280,939	8,620,555
負債純資産合計	10,784,058	11,476,883



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自令和元年8月1日 至令和2年4月30日)
売上高	3,816,364	4,233,047
売上原価	2,064,640	2,153,840
売上総利益	1,751,724	2,079,206
販売費及び一般管理費	1,451,361	1,443,342
営業利益	300,363	635,864
営業外収益		
受取利息	1,994	4,167
補助金収入	5,486	6,015
雑収入	7,939	6,304
営業外収益合計	15,419	16,487
営業外費用		
支払利息	2,642	2,641
為替差損	5,353	13,813
雑損失	1,546	1,197
営業外費用合計	9,542	17,652
経常利益	306,240	634,698
税引前四半期純利益	306,240	634,698
法人税等	93,588	184,487
四半期純利益	212,651	450,211

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成31年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 令和元年8月1日 至 令和2年4月30日)		前事業年度 (自 平成30年8月1日 至 令和元年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	238,111	5.6	777,782	17.6	464,679	8.4
エッチング装置	2,576,955	61.3	2,290,816	51.9	3,209,426	58.3
洗浄装置	608,626	14.5	552,775	12.5	844,982	15.4
その他	780,722	18.6	793,169	18.0	985,438	17.9
合計	4,204,416	100.0	4,414,544	100.0	5,504,527	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成31年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 令和元年8月1日 至 令和2年4月30日)		前事業年度 (自 平成30年8月1日 至 令和元年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	314,504	229,100	611,692	244,811	538,974	349,770
エッチング装置	2,259,528	1,323,005	2,230,814	1,186,767	2,660,577	1,203,529
洗浄装置	608,798	355,250	284,854	84,655	910,234	386,086
その他	664,149	145,230	737,014	192,796	882,080	138,316
合計	3,846,981	2,052,585	3,864,375	1,709,031	4,991,866	2,077,702

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成31年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 令和元年8月1日 至 令和2年4月30日)		前事業年度 (自 平成30年8月1日 至 令和元年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	325,699	8.5	716,651	16.9	429,499	8.7
エッチング装置	2,281,058	59.8	2,247,575	53.1	2,801,583	56.8
洗浄装置	491,851	12.9	586,284	13.9	762,450	15.4
その他	717,755	18.8	682,535	16.1	942,598	19.1
合計	3,816,364	100.0	4,233,047	100.0	4,936,132	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区分 (地域別)	前第3四半期累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自令和元年8月1日 至令和2年4月30日)		前事業年度 (自平成30年8月1日 至令和元年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	691,940	57.0	855,685	61.1	1,061,104	59.8
北米	381,644	31.5	399,342	28.5	504,079	28.4
欧州	140,095	11.5	31,495	2.2	209,620	11.8
その他	—	—	114,559	8.2	—	—
輸出販売高合計	1,213,680 (31.8%)	100.0	1,401,082 (33.1%)	100.0	1,774,805 (36.0%)	100.0

(注) ( ) 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。